

最新の機械安全の国際規格の要求事項を満たす機械・設備の設計(人材育成、設計方法)

5月25日に改訂版が発行された JIS B 9705-1-2019 (ISO 13849-1:2015)、JIS B 9710_2019 (ISO 14119-2:2013)等の要求事項と、これらに適合した機械・設備の設計に関する解説を中心に

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

機械安全の国際規格は、**state of the art** の原則に従い、たびたび改訂、新規発行されております。そのため最新の国際規格に自社の機械や設備が本当に適合しているかどうか確証をもてない、または制御システムの安全関連部の妥当性評価は、設計者以外の第三者が行わなければならないにも関わらず設計者が行っている、など、機械製造メーカー、システムインテグレータの皆様が抱える不安や悩みは多く、EU 圏に輸出する機械・設備だけでなく、国内向けの機械・設備についても、最新の国際規格の要求事項を満たす事に苦慮しているのが実情だと思われま

す。現状を鑑み、機械製造メーカー、システムインテグレータの皆様が、最新の機械安全の国際規格に適合した機械・設備の設計及び妥当性確認を行う事の一助になるべく、学会から長岡技術大学 安全安心研究センター長 福田隆文 氏、第三者認証機関からテュフ ラインランド ジャパン検査員大桃 禎人 氏を講師に招き、セミナーを開催致します。

日時:9月5日(木)13:00~17:30

場所:新大阪丸ビル新館 609号室(新大阪駅東口より徒歩3分 [地図はこちら](#)をクリックしてください)

定員:50名(2人掛け)

費用:5,000円(税抜き)

◇プログラム内容

13:00~14:15

1. IEC/TC44の動向、*国際規格の要求事項を満たした機械設備の設計・妥当性確認をできる人材の育成

講師:長岡科学技術大学 福田 隆文 氏

14:30~15:45

2.最新の機械安全の国際規格の要求事項について(ISO13849-1:2015 インターロックを直列接続した場合の PL、ISO14119:2013 に基づくインターロックの無効化防止要求、ISO16090-1:2017、ISO16089:2015 に基づく軸の安全な速度及び停止位置の監視など)

講師:テュフ ラインランド ジャパン株式会社 大桃 禎人 氏

16:00~17:30

3.最新の機械安全の国際規格を踏まえた制御システムの安全関連部の設計事例及びシステム紹介

担当:シュメアザール株式会社 白井 安彦

◇お申込み方法

本文中に、会社名、所属部署名、氏名、ご連絡先(住所、電話、e-mail アドレス)をご記入のうえ、こちらの[機械安全セミナー大阪申し込み受付](#)に送信ください。